

地場企業の経営動向調査

(平成27年度第1・四半期)

平成27年7月22日

 福岡商工会議所

総合企画本部 企画広報グループ

TEL 092-441-1112

調査目的

福岡市内地場企業（一部福岡市近郊を含む）の景況及び経営動向を把握すると同時に、これらの情報を企業へ提供し、企業経営の参考に資するものである。

調査対象

当所会員企業を対象とし1,500社を任意抽出したもので、対象企業の内訳は中小企業 1,388社（構成比率92.5%）、大企業112社（構成比率7.5%）により構成されている。

回答した企業数は408社、回答率27.2%となっており、回答企業の内訳は、中小企業388社（構成比率95.1%）、大企業20社（構成比率4.9%）となっている。

※ 中小企業の範囲は中小企業基本法の定義に基づく。

調査要領

四半期毎にアンケート用紙を郵送、前年同期比の回答を求めるもので、今回は平成27年4～6月期の実績、及び平成27年7～9月期の予想について、平成27年6月末時点で調査した。

調査内容

※DI値を集計（DI=「良いとする回答割合」－「悪いとする回答割合」）

DI …… Diffusion Index（景気動向指数）の略

《 景気・経営動向調査 》

1. 自社・業界の景況
2. 生産額、売上額、完成工事高
3. 原材料・製（商）品仕入価格
4. 受注価格、販売価格
5. 製（商）品在庫
6. 営業利益
7. 資金繰り
8. 当面の経営上の問題点
9. 平成26年度の採用（平成26年4月～平成27年3月までに入社）について
10. 平成27年度の採用（平成27年4月～平成28年3月までに入社）について
11. 平成27年度の採用（平成27年4月～平成28年3月までに入社）方針について
12. 平成28年度入社予定の新卒大学生等を対象とする採用ルールの変更により、学生の就職活動が後ろ倒しされたことによる影響について

平成27年度 第1四半期

調査対象企業数及び回収結果

| 規模別 | 対象数 | 回答数 | 回答率 | 回答結果の構成比 |
|------|-------|-----|-------|----------|
| 全業種 | 1,500 | 408 | 27.2% | |
| 中小企業 | 1,388 | 388 | 28.0% | 95.1% |
| 大企業 | 112 | 20 | 17.9% | 4.9% |

| 業種別 | 対象数 | 回答数 | 回答率 | 回答結果の構成比 |
|-------------|-------|-----|--------|----------|
| 全業種 | 1,500 | 408 | 27.2% | |
| 建設業 | 203 | 67 | 33.0% | 16.4% |
| 土木建設業 | 73 | 24 | 32.9% | 5.9% |
| 建設付帯工事業 | 58 | 18 | 31.0% | 4.4% |
| 電気・管工事業 | 72 | 25 | 34.7% | 6.1% |
| 製造業 | 286 | 96 | 33.6% | 23.5% |
| 食料品製造業 | 201 | 64 | 31.8% | 15.7% |
| 建材・木・紙製品製造業 | 12 | 7 | 58.3% | 1.7% |
| 印刷・製本業 | 13 | 7 | 53.8% | 1.7% |
| 窯業・土石製品製造業 | 5 | 1 | 20.0% | 0.2% |
| 金属製品製造業 | 17 | 4 | 23.5% | 1.0% |
| 一般機械器具製造業 | 10 | 5 | 50.0% | 1.2% |
| 電気機械器具製造業 | 10 | 3 | 30.0% | 0.7% |
| その他製造業 | 18 | 5 | 27.8% | 1.2% |
| 卸売業 | 304 | 95 | 31.3% | 23.3% |
| 食料品卸売業 | 206 | 64 | 31.1% | 15.7% |
| 繊維製品卸売業 | 1 | 1 | 100.0% | 0.2% |
| 建材・住宅機器卸売業 | 29 | 7 | 24.1% | 1.7% |
| 金属・鋼材卸売業 | 3 | 2 | 66.7% | 0.5% |
| 一般機械器具卸売業 | 28 | 8 | 28.6% | 2.0% |
| 石油・化学製品卸売業 | 2 | 2 | 100.0% | 0.5% |
| その他卸売業 | 35 | 11 | 31.4% | 2.7% |
| 小売業 | 148 | 35 | 23.6% | 8.6% |
| 食料品小売業 | 141 | 34 | 24.1% | 8.3% |
| その他小売業 | 7 | 1 | 14.3% | 0.2% |
| 運輸・倉庫業 | 122 | 34 | 27.9% | 8.3% |
| 旅客運送業 | 55 | 18 | 32.7% | 4.4% |
| 貨物運送・倉庫業 | 67 | 16 | 23.9% | 3.9% |
| サービス業 | 437 | 81 | 18.5% | 19.9% |
| 情報処理サービス業 | 43 | 7 | 16.3% | 1.7% |
| その他事務所サービス業 | 277 | 48 | 17.3% | 11.8% |
| ホテル・旅館・飲食業 | 13 | 4 | 30.8% | 1.0% |
| その他の個人サービス業 | 104 | 22 | 21.2% | 5.4% |

調査結果のポイント

【 業況について 】

- 今四半期（H27年4～6月）の地場企業の景況判断指数（DI値）は、全業種平均で「良くなった」と回答した企業割合は25.3%（前期比-1.1ポイント）、「悪くなった」と回答した企業割合は33.6%（前期比+1.2ポイント）、「横ばい」と回答した企業割合は38.7%（前期比-2.2ポイント）となった。
DI値は▲8.3（前期DI値▲6.0）となり、前期比で-2.3ポイントと2期ぶりの悪化となった。
- 規模別にみると、調査対象の9割以上を占める中小企業が▲9.3（前期比-4.6ポイント）で2期ぶりの悪化。大企業は5.0（前期比+26.8ポイント）と3期ぶりの改善となった。
- 業種別にみると、サービス業（前期▲1.2→今期7.4）、小売業（▲20.5→▲17.2）、卸売業（▲20.4→▲17.8）では改善となった。運輸・倉庫業（17.7→▲8.8）、建設業（9.6→0）、製造業（▲14.6→▲15.6）で悪化となった。
- 次期四半期（平成27年7月～9月）予測DI値については0.3となっており、今期比+8.6ポイントと改善の見通し。

【 項目別の動向について 】

- 項目別にみると、受注価格・販売価格DI（前期1.7→今期3.9）は2期連続の改善、生産額・売上額・完成工事高DI（▲6.3→▲5.1）は5期ぶりに改善、原材料・製(商)品仕入価格DI（32.7→39.0）は4期ぶりの上昇となった。
一方、営業利益DI（▲16.2→▲20.0）は3期ぶりの悪化、資金繰りDI（▲4.2→▲13.1）は2期ぶりの悪化となった。
- 当面の経営上の問題点として最も多かったのは、「受注、需要の増加又は減少」37.2%（前期比-4.6ポイント）であり、次いで「人材難、求人難、定着化の悪化」36.7%（前期比-7.7ポイント）、「営業利益の低下」33.6%（前期比0.0ポイント）、「原材料高、入手難」27.3%（前期比+4.9ポイント）、「経費の増加」26.8%（前期比+1.0ポイント）となった。
- 業種別でみると、建設業「受注、需要の増加又は減少」47.8%、製造業「原材料高、入手難」・「販売価格への転嫁難」共に45.8%、卸売業「受注、需要の増加又は減少」42.1%、小売業「天候などの自然条件」・「営業利益の低下」共に34.3%、運輸・倉庫業「人材難、求人難、定着化の悪化」85.3%、サービス業「人材難、求人難、定着化の悪化」42.0%がそれぞれ最も多かった。

【平成26年度の採用（平成26年4月～平成27年3月までに入社）について】

- 平成26年度の採用（平成26年4月～平成27年3月までに入社）状況について、最も多かったのは「採用なし又は募集しなかった」35.3%となり、次いで「正社員を中途採用した」33.3%、「非正規社員を採用した」22.6%、「正社員を新卒採用した」22.1%となった。
- 規模別にみると、「正社員を新卒採用した」について、大企業では70.0%と最も多かったが、中小企業は19.1%となり大企業との比較で50.9ポイント少なかった。

【平成27年度の採用（平成27年4月～平成28年3月までに入社）について】

- 平成27年度の採用（平成27年4月～平成28年3月までに入社）状況について、最も多かったのは全業種で「正社員を中途採用する」30.7%となり、次いで「正社員・非正規社員とも採用は行わない」25.1%、「現段階ではわからない」21.9%、「正社員を新卒採用する」20.4%、「非正規社員を採用する」18.0%となった。
- 規模別にみると、「正社員を新卒採用する」が大企業75.0%と最も多かったが、中小企業は17.0%と大企業との比較で58ポイント少なかった。

【平成27年度の採用（平成27年4月～平成28年3月までに入社）方針について】 ※平成26年度と比較した場合

- 平成27年度の採用（平成27年4月～平成28年3月までに入社）方針について、最も多かったのは全業種で「正社員の採用を増やす」42.6%となり、次いで「正社員の採用は昨年並み」34.7%、「非正規社員の採用を増やす」19.3%、「非正規社員の採用は昨年並み」13.9%、「正社員の採用を減らす」5.9%、「非正規社員の採用を減らす」2.0%となった。
- 規模別にみると、「正社員の採用を増やす」が中小企業45.6%と最も多かったが、大企業は11.8%と中小企業との比較で33.8ポイント少なかった。

【平成28年度入社予定の新卒大学生等を対象とする採用ルールの変更により、学生の就職活動が後ろ倒しされたことによる影響について】

- 平成28年度入社予定の新卒大学生等を対象とする採用ルールの変更による影響について、全業種で「特に影響はない」が44.5%と最も高い割合となった。
- 規模別にみると、「特に影響はない」が中小企業46.1%と最も多かったが、大企業は20.0%と中小企業との比較で26.1ポイント少なかった。

1. 自社・業界の景況

《2期ぶりの悪化。次期は改善の見通し》

今四半期（H28年4～6月）の地場企業の景況判断指数（DI値）は、全業種平均で「良くなった」と回答した企業割合は25.3%（前期比-1.1ポイント）、「悪くなった」と回答した企業割合は33.6%（前期比+1.2ポイント）、「横ばい」と回答した企業割合は38.7%（前期比-2.2ポイント）となった。DI値は▲8.3（前期DI値▲6.0）となり、前期比で-2.3ポイントと2期ぶりの悪化となった。

規模別にみると、調査対象の9割以上を占める中小企業が▲9.3（前期比-4.6ポイント）で2期ぶりの悪化。大企業は5.0（前期比+26.8ポイント）と3期ぶりの改善となった。

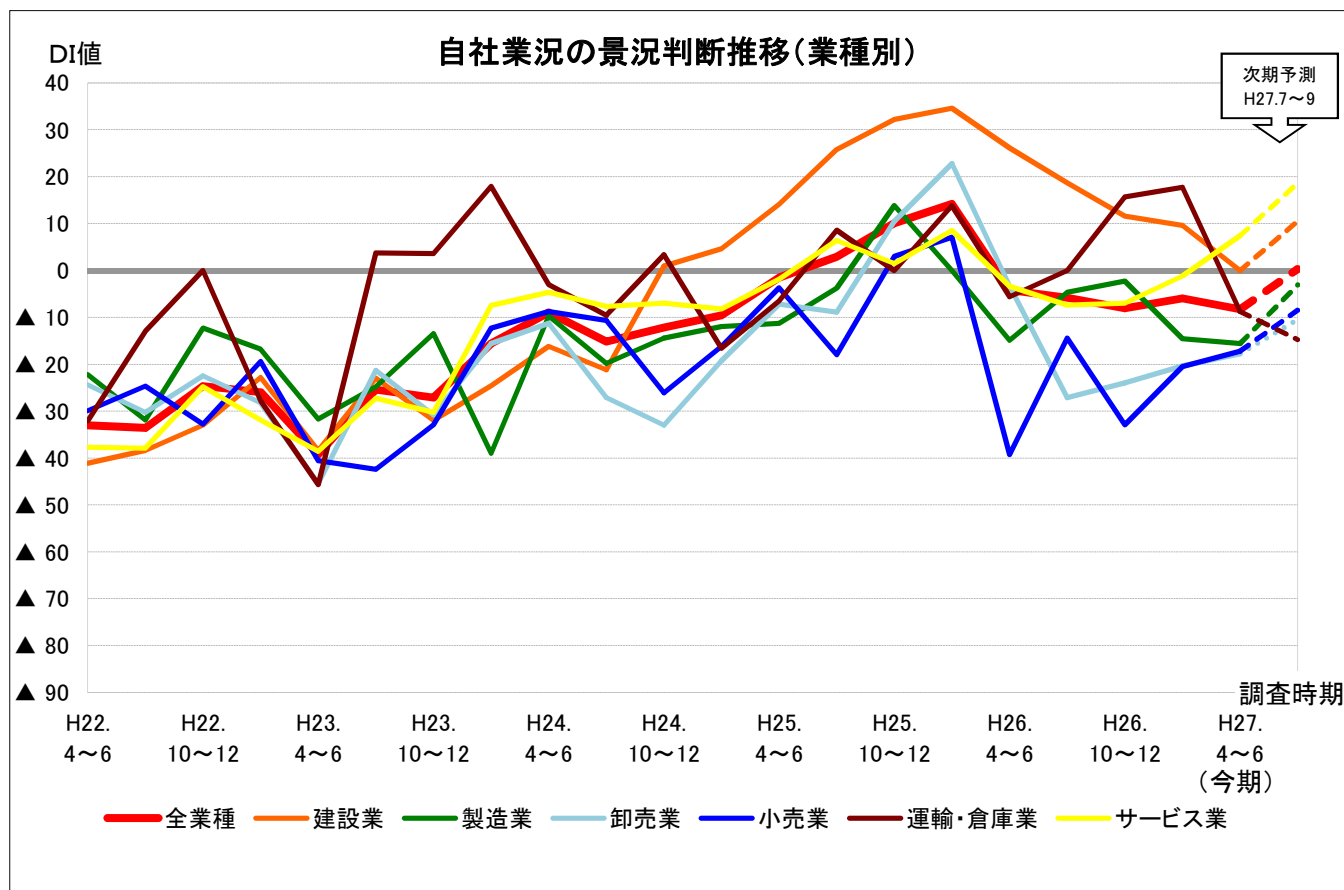
業種別にみると、サービス業（前期▲1.2→今期7.4）、小売業（▲20.5→▲17.2）、卸売業（▲20.4→▲17.8）と改善したが、運輸・倉庫業（17.7→▲8.8）、建設業（9.6→0）、製造業（▲14.6→▲15.6）が悪化。

次期四半期（平成27年7月～9月）予測については、0.3となっており、今期比+8.6ポイントと改善の見通しとなる。

《 自社業況の総合判断(前年同期と比較して) 》

(単位 %)

| | 今四半期(27年4～6月期)実績 | | | | | | | 次四半期(27年7～9月期)予測 | | | | | | |
|--------|------------------|---------|------|---------|----------|-----|-------|------------------|--------|------|--------|---------|-----|-------|
| | 非常に良くなった | やや良くなった | 横ばい | やや悪くなった | 非常に悪くなった | 未記入 | DI値 | 非常に良くなる | やや良くなる | 横ばい | やや悪くなる | 非常に悪くなる | 未記入 | DI値 |
| 全業種 | 1.2 | 24.1 | 38.7 | 29.0 | 4.6 | 2.4 | ▲8.3 | 1.0 | 23.8 | 44.0 | 22.1 | 2.4 | 6.6 | 0.3 |
| 建設業 | 0.0 | 20.9 | 53.7 | 17.9 | 3.0 | 4.5 | 0.0 | 1.5 | 25.4 | 50.7 | 16.4 | 0.0 | 6.0 | 10.5 |
| 製造業 | 1.0 | 24.0 | 33.3 | 35.4 | 5.2 | 1.0 | ▲15.6 | 0.0 | 24.0 | 44.8 | 21.9 | 5.2 | 4.2 | ▲3.1 |
| 卸売業 | 1.1 | 21.1 | 35.8 | 35.8 | 4.2 | 2.1 | ▲17.8 | 0.0 | 20.0 | 42.1 | 30.5 | 0.0 | 7.4 | ▲10.5 |
| 小売業 | 0.0 | 25.7 | 31.4 | 34.3 | 8.6 | 0.0 | ▲17.2 | 0.0 | 22.9 | 37.1 | 25.7 | 5.7 | 8.6 | ▲8.5 |
| 運輸・倉庫業 | 0.0 | 32.4 | 26.5 | 35.3 | 5.9 | 0.0 | ▲8.8 | 0.0 | 17.6 | 44.1 | 26.5 | 5.9 | 5.9 | ▲14.8 |
| サービス業 | 3.7 | 24.7 | 45.7 | 17.3 | 3.7 | 4.9 | 7.4 | 3.7 | 30.9 | 40.7 | 14.8 | 1.2 | 8.6 | 18.6 |
| 中小企業 | 1.0 | 23.7 | 38.7 | 29.1 | 4.9 | 2.6 | ▲9.3 | 0.8 | 24.2 | 43.0 | 22.7 | 2.6 | 6.7 | ▲0.3 |
| 大企業 | 5.0 | 25.0 | 45.0 | 25.0 | 0.0 | 0.0 | 5.0 | 5.0 | 20.0 | 55.0 | 15.0 | 0.0 | 5.0 | 10.0 |



2. 生産額、売上額、完成工事高

《5期ぶりに改善、次期も改善の見通し》

生産額、売上額、完成工事高については、全業種平均で「増えた」と回答した企業は21.0%（前期比-0.1ポイント）、「減った」と回答した企業は26.1%（前期比▲2.2ポイント）、「横ばい」と回答した企業は50.6%（前期比+3.1ポイント）となっており、DI値は▲5.1（前期DI値▲6.3）と前期比+1.2ポイントの改善となった。

業種別にみると、サービス業（前期▲3.4→今期7.4）、小売業（▲11.4→▲5.6）、製造業（▲9→▲4.1）、卸売業（▲15→▲14.8）では改善となった。一方、運輸・倉庫業（2.9→▲8.9）、建設業（▲0.1→▲7.5）で悪化となった。

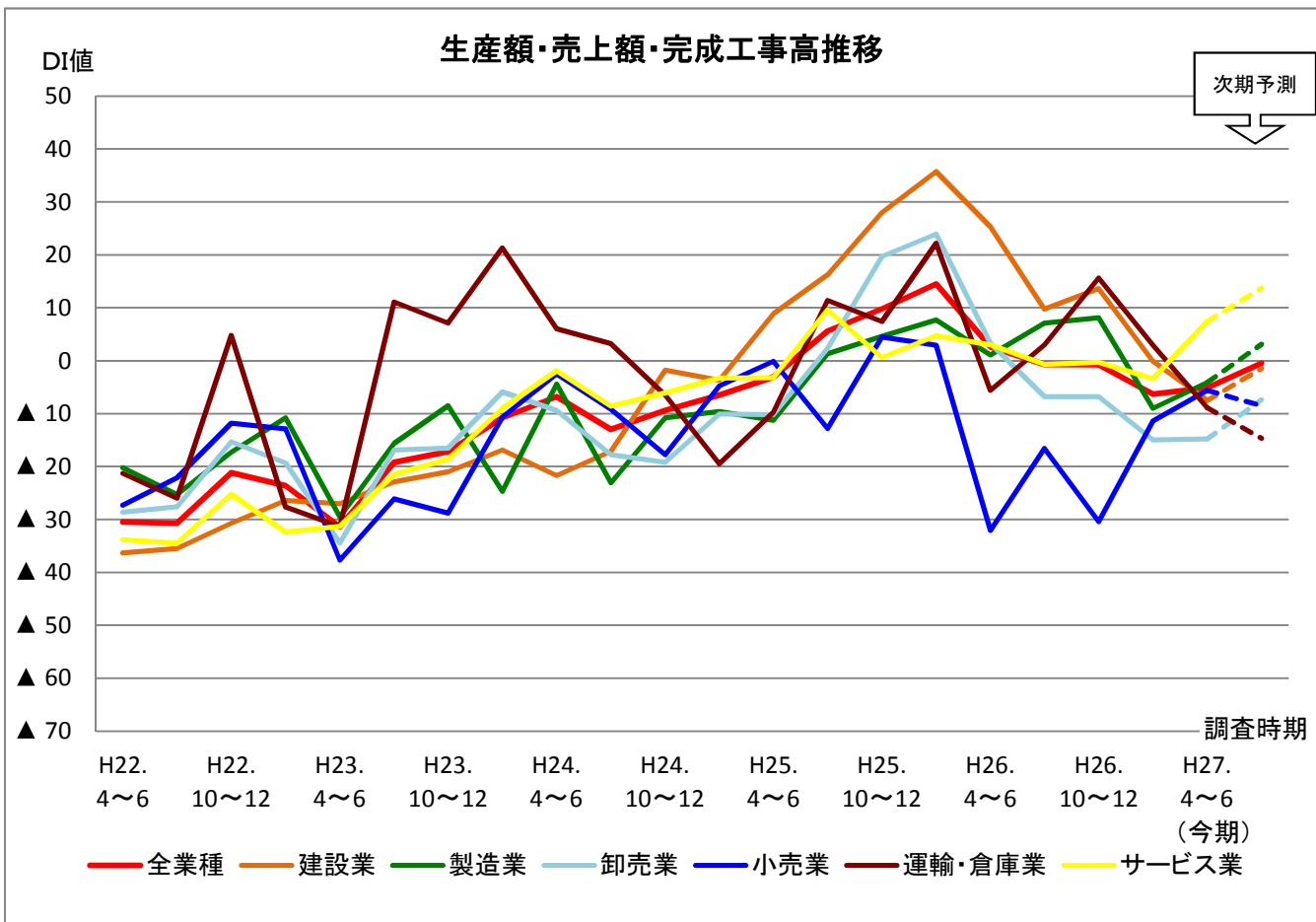
規模別にみると、中小企業（前期▲6.1→今期▲6.1）と横ばい。一方、大企業（▲6.5→10）は改善となった。

次四半期（平成27年7月～9月）予測については、▲0.5となっており、今期比で+4.6ポイントと改善の見通し。

《生産額、売上額、完成工事高（前年同期と比較して）》

（単位 %）

| | 今四半期(27年4～6月期)実績 | | | | | | | 次四半期(27年7～9月期)予測 | | | | | | |
|--------|------------------|------|------|------|------|------|-------|------------------|------|------|------|------|------|-------|
| | 2ケタ増 | 1ケタ増 | 横ばい | 1ケタ減 | 2ケタ減 | 未記入 | DI値 | 2ケタ増 | 1ケタ増 | 横ばい | 1ケタ減 | 2ケタ減 | 未記入 | DI値 |
| 全業種 | 3.2 | 17.8 | 50.6 | 20.7 | 5.4 | 2.4 | ▲5.1 | 1.5 | 18.0 | 54.3 | 15.6 | 4.4 | 6.3 | ▲0.5 |
| 建設業 | 1.5 | 11.9 | 65.7 | 16.4 | 4.5 | 0.0 | ▲7.5 | 3.0 | 13.4 | 62.7 | 16.4 | 1.5 | 3.0 | ▲1.5 |
| 製造業 | 4.2 | 18.8 | 50.0 | 21.9 | 5.2 | 0.0 | ▲4.1 | 1.0 | 20.8 | 56.2 | 12.5 | 6.2 | 3.1 | 3.1 |
| 卸売業 | 0.0 | 18.9 | 45.3 | 28.4 | 5.3 | 2.1 | ▲14.8 | 0.0 | 17.9 | 47.4 | 21.1 | 4.2 | 9.5 | ▲7.4 |
| 小売業 | 2.9 | 22.9 | 31.4 | 20.0 | 11.4 | 11.4 | ▲5.6 | 2.9 | 17.1 | 40.0 | 17.1 | 11.4 | 11.4 | ▲8.5 |
| 運輸・倉庫業 | 2.9 | 17.6 | 50.0 | 23.5 | 5.9 | 0.0 | ▲8.9 | 0.0 | 14.7 | 50.0 | 23.5 | 5.9 | 5.9 | ▲14.7 |
| サービス業 | 6.2 | 17.3 | 55.6 | 13.6 | 2.5 | 4.9 | 7.4 | 2.5 | 21.0 | 59.3 | 8.6 | 1.2 | 7.4 | 13.7 |
| 中小企業 | 3.1 | 17.3 | 50.8 | 21.1 | 5.4 | 2.3 | ▲6.1 | 1.5 | 17.8 | 54.1 | 15.7 | 4.6 | 6.2 | ▲1.0 |
| 大企業 | 0.0 | 25.0 | 55.0 | 15.0 | 0.0 | 5.0 | 10.0 | 0.0 | 25.0 | 50.0 | 15.0 | 0.0 | 10.0 | 10.0 |



3. 原材料、製（商）品仕入価格

《4期ぶりの上昇、次期は下落する見通し》

原材料、製（商）品仕入価格については、「上昇」と回答した企業は42.6%（前期比+5.5ポイント）、「下落」と回答した企業は3.6%（前期比▲0.8ポイント）、「横ばい」と回答した企業は39.9%（前期比▲4.5ポイント）となっており、DI値は39.0（前期DI値32.7）と前期比+6.3ポイントの上昇となった。

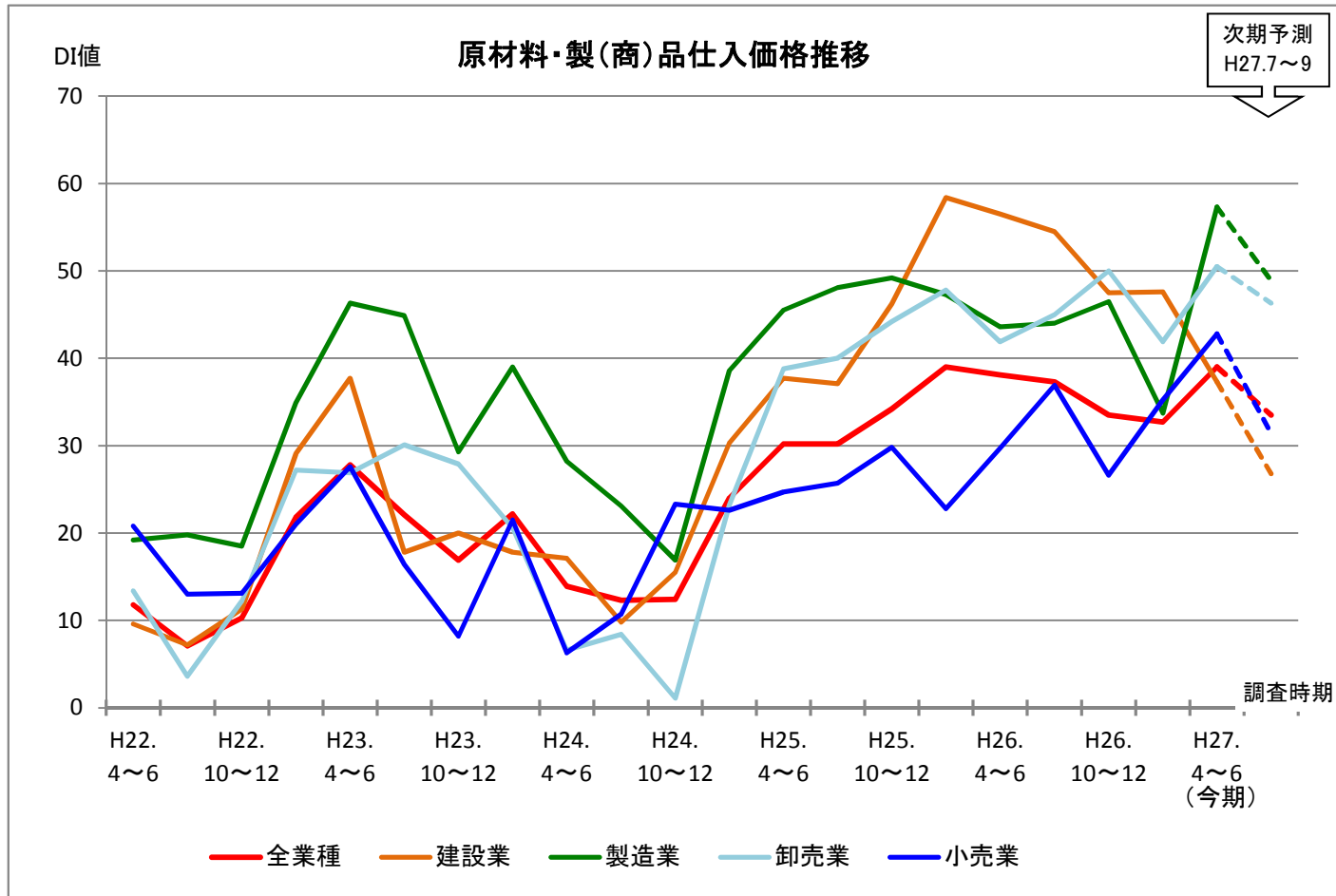
業種別にみると、製造業（前期33.7→今期57.3）、運輸・倉庫業（▲14.7→▲2.9）、卸売業（41.9→50.5）、小売業（35.2→42.8）と上昇。一方、建設業（47.6→37.3）、サービス業（27.2→19.8）は下落となった。

規模別にみると、中小企業（前期32.5→今期38.4）、大企業は（28.3→45.0）とともに上昇となった。

次四半期（平成27年7月～9月）予測については、33.5となっており、今期比で-5.5ポイントと下落の見通

《 原材料、製品仕入価格(前年同期と比較して) 》 (単位 %)

| | 今四半期(27年4~6月期)実績 | | | | | 次四半期(27年7~9月期)予測 | | | | |
|--------|------------------|------|------|------|------|------------------|------|-----|------|------|
| | 上昇 | 横ばい | 下落 | 未記入 | DI値 | 上昇 | 横ばい | 下落 | 未記入 | DI値 |
| 全業種 | 42.6 | 39.9 | 3.6 | 13.9 | 39.0 | 36.7 | 41.8 | 3.2 | 18.2 | 33.5 |
| 建設業 | 38.8 | 53.7 | 1.5 | 6.0 | 37.3 | 31.3 | 55.2 | 4.5 | 9.0 | 26.8 |
| 製造業 | 59.4 | 37.5 | 2.1 | 1.0 | 57.3 | 51.0 | 41.7 | 2.1 | 5.2 | 48.9 |
| 卸売業 | 54.7 | 38.9 | 4.2 | 2.1 | 50.5 | 49.5 | 37.9 | 3.2 | 9.5 | 46.3 |
| 小売業 | 51.4 | 34.3 | 8.6 | 5.7 | 42.8 | 40.0 | 42.9 | 8.6 | 8.6 | 31.4 |
| 運輸・倉庫業 | 11.8 | 23.5 | 14.7 | 50.0 | ▲2.9 | 14.7 | 26.5 | 5.9 | 52.9 | 8.8 |
| サービス業 | 19.8 | 42.0 | 0.0 | 38.3 | 19.8 | 18.5 | 39.5 | 0.0 | 42.0 | 18.5 |
| 中小企業 | 42.3 | 39.9 | 3.9 | 13.9 | 38.4 | 36.6 | 41.8 | 3.4 | 18.3 | 33.2 |
| 大企業 | 45.0 | 40.0 | 0.0 | 15.0 | 45.0 | 45.0 | 35.0 | 0.0 | 20.0 | 45.0 |



4. 受注価格、販売価格

《2期連続の改善、次期は下落の見通し》

受注価格、販売価格については、「上昇」と回答した企業は14.4%（前期比+1.4ポイント）、「下落」と回答した企業は10.5%（前期比-0.8ポイント）、「横ばい」と回答した企業は66.2%（前期比-4.0ポイント）となっており、DI値は3.9（前期DI値1.7）と前期比+2.2ポイントの改善となった。

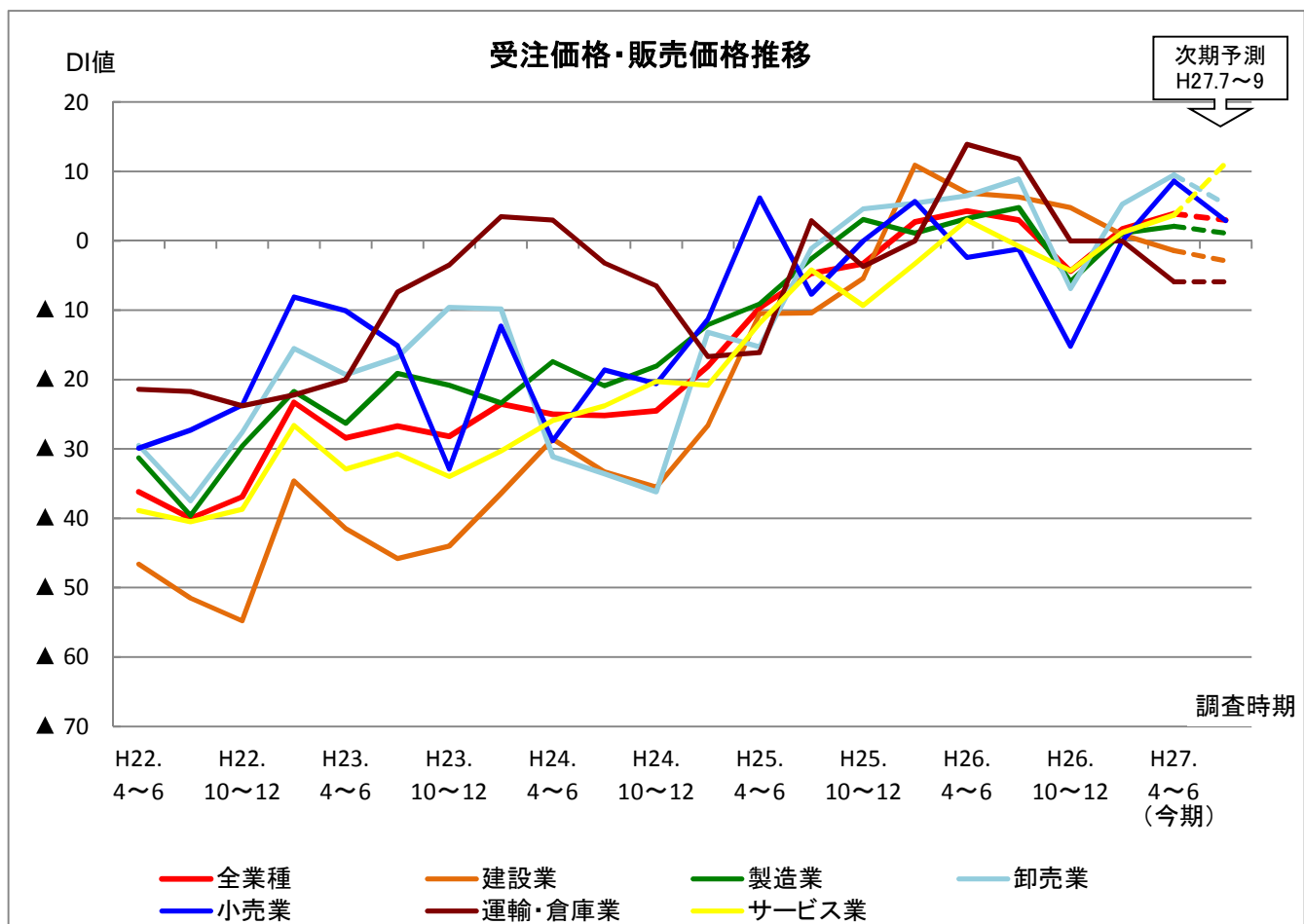
業種別にみると、小売業（前期0.0→今期8.6）、卸売業（5.3→9.5）、サービス業（1.2→3.7）、製造業（1.1→2.1）と上昇。一方、運輸・倉庫業（0.0→▲5.9）、建設業（0.9→▲1.4）は下落となった。

規模別にみると、中小企業（前期0.2→今期2.6）、大企業（17.4→20.0）とともに上昇となった。

次期（平成27年7月～9月）予測については、3.0となっており、今期比で-0.9ポイントと下落の見通し。

《 受注価格、販売価格（前年同月と比較して） 》 (単位 %)

| | 今四半期(27年4～6月期)実績 | | | | | 次四半期(27年7～9月期)予測 | | | | |
|--------|------------------|------|------|------|------|------------------|------|------|------|------|
| | 上昇 | 横ばい | 下落 | 未記入 | DI値 | 上昇 | 横ばい | 下落 | 未記入 | DI値 |
| 全業種 | 14.4 | 66.2 | 10.5 | 9.0 | 3.9 | 12.7 | 64.5 | 9.7 | 13.1 | 3.0 |
| 建設業 | 9.0 | 77.6 | 10.4 | 3.0 | ▲1.4 | 7.5 | 73.1 | 10.4 | 9.0 | ▲2.9 |
| 製造業 | 8.3 | 82.3 | 6.2 | 3.1 | 2.1 | 9.4 | 77.1 | 8.3 | 5.2 | 1.1 |
| 卸売業 | 23.2 | 58.9 | 13.7 | 4.2 | 9.5 | 13.7 | 67.4 | 8.4 | 10.5 | 5.3 |
| 小売業 | 22.9 | 54.3 | 14.3 | 8.6 | 8.6 | 22.9 | 45.7 | 20.0 | 11.4 | 2.9 |
| 運輸・倉庫業 | 2.9 | 55.9 | 8.8 | 32.4 | ▲5.9 | 2.9 | 52.9 | 8.8 | 35.3 | ▲5.9 |
| サービス業 | 14.8 | 56.8 | 11.1 | 17.3 | 3.7 | 19.8 | 50.6 | 8.6 | 21.0 | 11.2 |
| 中小企業 | 13.7 | 65.7 | 11.1 | 9.5 | 2.6 | 12.6 | 63.4 | 10.3 | 13.7 | 2.3 |
| 大企業 | 20.0 | 80.0 | 0.0 | 0.0 | 20.0 | 15.0 | 80.0 | 0.0 | 5.0 | 15.0 |



5. 製（商）品在庫

《2期連続の悪化、次期は改善の見通し》

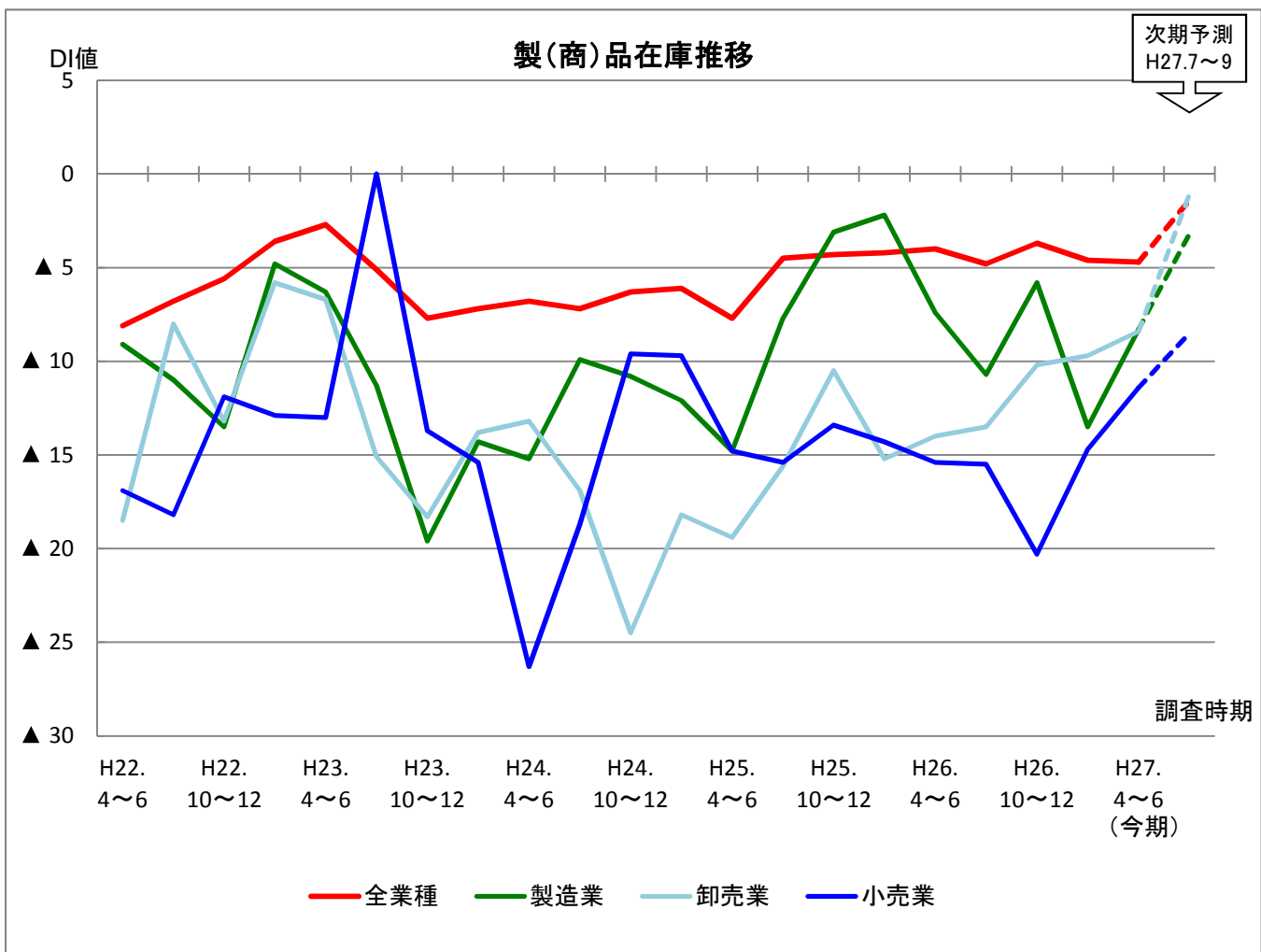
製（商）在庫については、「適正」と回答した企業は63.7%（前期比+1.1ポイント）、「不足」と回答した企業は4.1%（前期比+0.6ポイント）、「過剰」と回答した企業は8.8%（前期比+0.7ポイント）となっており、DI値は▲4.7（前期DI値▲4.6）と前期比-0.1ポイントの悪化となった。

次四半期（平成27年7月～9月）予測については、▲1.4となっており、今期比で+3.3ポイントと改善の見通し。

《製（商）品在庫（貴社の適正水準と比較して）》

（単位 %）

| | 今四半期(27年4～6月期)実績 | | | | | 次四半期(27年7～9月期)予測 | | | | |
|--------|------------------|------|------|------|-------|------------------|------|------|------|------|
| | 不足 | 適正 | 過剰 | 未記入 | DI値 | 不足 | 適正 | 過剰 | 未記入 | DI値 |
| 全業種 | 4.1 | 63.7 | 8.8 | 23.4 | ▲4.7 | 4.4 | 63.0 | 5.8 | 26.8 | ▲1.4 |
| 建設業 | 6.0 | 50.7 | 4.5 | 38.8 | 1.5 | 4.5 | 50.7 | 4.5 | 40.3 | 0.0 |
| 製造業 | 7.3 | 74.0 | 15.6 | 3.1 | ▲8.3 | 6.2 | 78.1 | 9.4 | 6.2 | ▲3.2 |
| 卸売業 | 3.2 | 81.1 | 11.6 | 4.2 | ▲8.4 | 6.3 | 76.8 | 7.4 | 9.5 | ▲1.1 |
| 小売業 | 0.0 | 80.0 | 11.4 | 8.6 | ▲11.4 | 2.9 | 77.1 | 11.4 | 8.6 | ▲8.5 |
| 運輸・倉庫業 | 2.9 | 29.4 | 0.0 | 67.6 | 2.9 | 2.9 | 26.5 | 0.0 | 70.6 | 2.9 |
| サービス業 | 2.5 | 48.1 | 3.7 | 45.7 | ▲1.2 | 1.2 | 46.9 | 1.2 | 50.6 | 0.0 |
| 中小企業 | 4.1 | 62.9 | 9.3 | 23.7 | ▲5.2 | 4.4 | 62.4 | 6.2 | 27.1 | ▲1.8 |
| 大企業 | 5.0 | 75.0 | 0.0 | 20.0 | 5.0 | 5.0 | 70.0 | 0.0 | 25.0 | 5.0 |



6. 営業利益

《3期ぶりの悪化、次期は改善の見通し》

営業利益については、「増加」と回答した企業は14.8%（前期比-4.0ポイント）、「減少」と回答した企業は34.8%（前期比-0.2ポイント）、「横ばい」と回答した企業は48.9%（前期比+3.9ポイント）となっており、DI値は▲20.0（前期DI値▲16.2）と前期比-3.8ポイントの悪化となった。

業種別にみると、卸売業（前期▲35.5→今期▲21.0）、小売業（▲30.7→▲17.2）、サービス業（▲10.9→▲9.9）と改善。一方、運輸・倉庫業（17.7→▲8.8）、建設業（▲6.7→▲20.9）、製造業（▲20.2→▲33.3）の悪化となった。

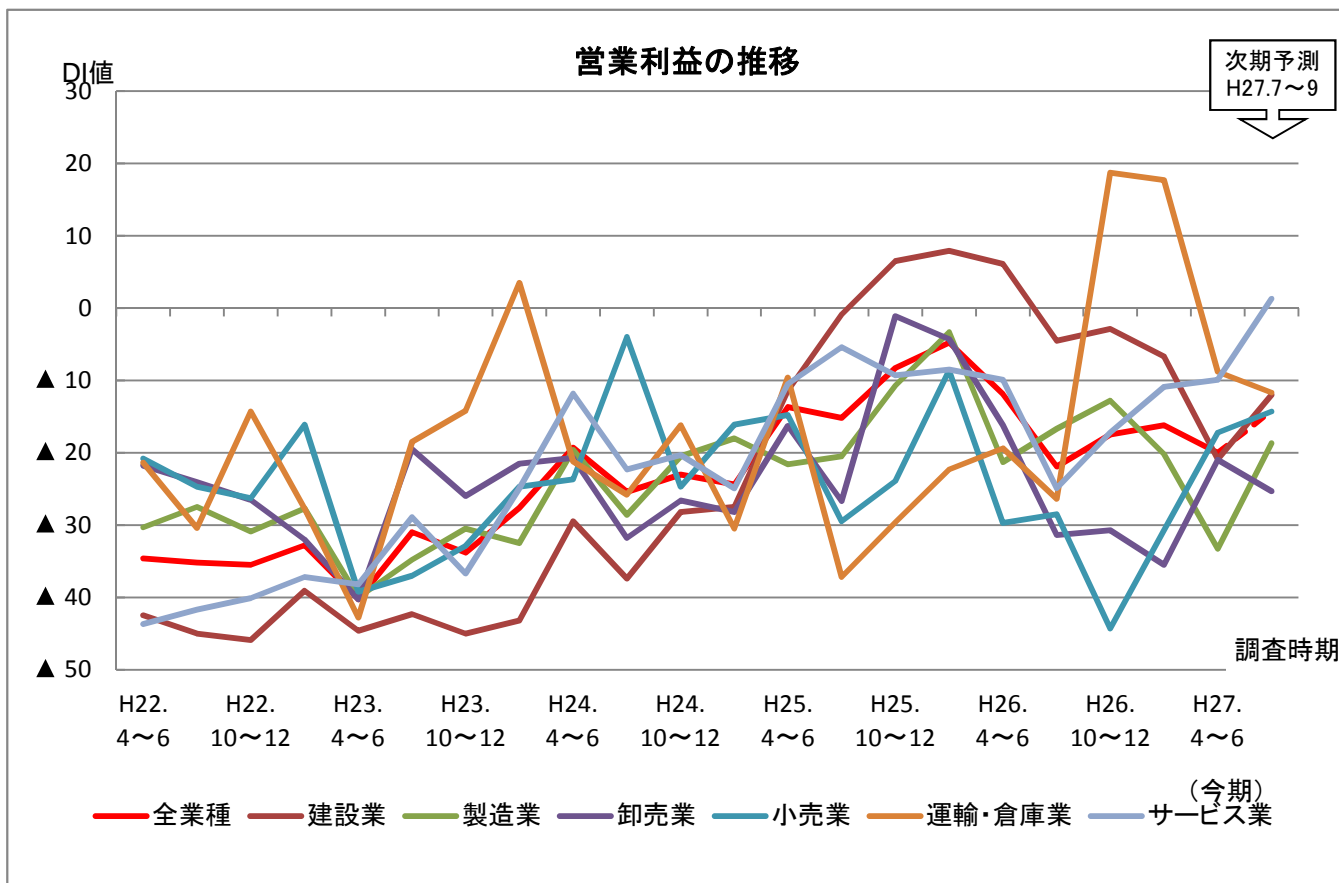
規模別にみると、中小企業（前期▲15.8→今期▲21.9）と悪化。一方、大企業（▲19.5→10.0）は改善となった。

次四半期（平成27年7月～9月）予測については、▲14.2となっており、今期比で+5.8ポイントと改善の見通し。

《 営業利益(前年同期と比較して) 》

(単位 %)

| | 今四半期(27年4～6月期)実績 | | | | | 次四半期(27年7～9月期)予測 | | | | |
|--------|------------------|------|------|-----|-------|------------------|------|------|-----|-------|
| | 増加 | 横ばい | 減少 | 未記入 | DI値 | 増加 | 横ばい | 減少 | 未記入 | DI値 |
| 全業種 | 14.8 | 48.9 | 34.8 | 1.5 | ▲20.0 | 14.8 | 49.6 | 29.0 | 6.6 | ▲14.2 |
| 建設業 | 7.5 | 62.7 | 28.4 | 1.5 | ▲20.9 | 11.9 | 59.7 | 23.9 | 4.5 | ▲12.0 |
| 製造業 | 9.4 | 47.9 | 42.7 | 0.0 | ▲33.3 | 14.6 | 49.0 | 33.3 | 3.1 | ▲18.7 |
| 卸売業 | 17.9 | 42.1 | 38.9 | 1.1 | ▲21.0 | 12.6 | 41.1 | 37.9 | 8.4 | ▲25.3 |
| 小売業 | 25.7 | 31.4 | 42.9 | 0.0 | ▲17.2 | 20.0 | 40.0 | 34.3 | 5.7 | ▲14.3 |
| 運輸・倉庫業 | 20.6 | 47.1 | 29.4 | 2.9 | ▲8.8 | 11.8 | 55.9 | 23.5 | 8.8 | ▲11.7 |
| サービス業 | 14.8 | 56.8 | 24.7 | 3.7 | ▲9.9 | 19.8 | 51.9 | 18.5 | 9.9 | 1.3 |
| 中小企業 | 14.2 | 48.2 | 36.1 | 1.5 | ▲21.9 | 14.7 | 48.2 | 30.4 | 6.7 | ▲15.7 |
| 大企業 | 20.0 | 70.0 | 10.0 | 0.0 | 10.0 | 20.0 | 70.0 | 5.0 | 5.0 | 15.0 |



7. 資金繰り

《2期ぶりの悪化、次期は改善の見通し》

資金繰りについては、「楽である」と回答した企業は8.8%（前期比-3.9ポイント）、「苦しい」と回答した企業は21.9%（前期比+5.0ポイント）、「不変」と回答した企業は67.4%（前期比-1.9ポイント）となっており、DI値は▲13.1（前期DI値▲4.2）と前期比-8.9ポイントの悪化となった。

業種別にみると、運輸・倉庫業（前期5.9→今期▲20.6）、小売業（▲5.7→▲25.8）、製造業（▲2.3→▲12.6）、サービス業（▲5.9→▲17.3）、卸売業（▲6.4→▲10.5）、建設業（▲1.9→▲4.5）と全業種で悪化となった。

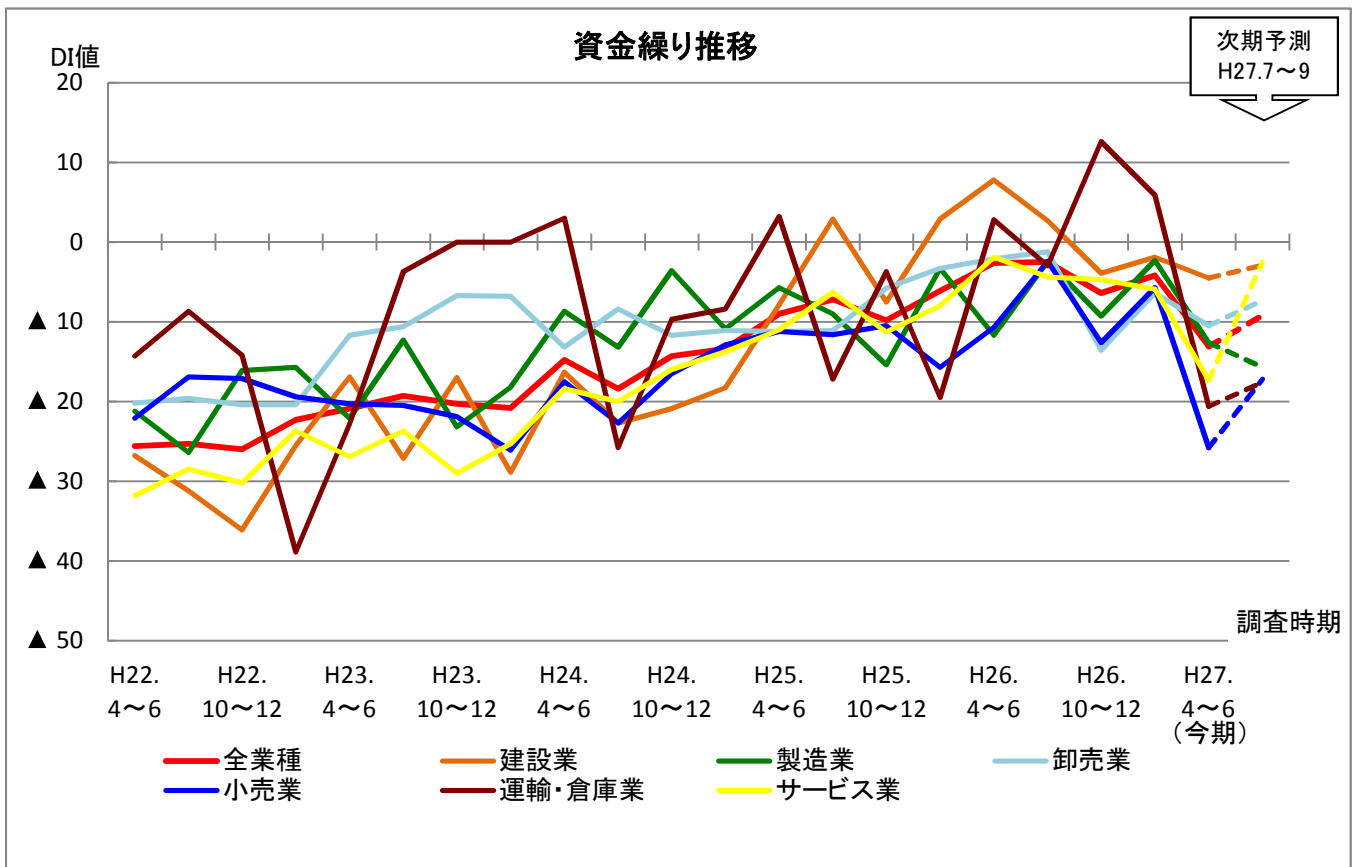
規模別にみると、中小企業（前期▲4.9→今期▲15.2）と悪化。一方、大企業（8.7→20.0）は改善となった。

次四半期（平成27年7月～9月）予測については、▲9.2となっており、今期比で+3.9ポイントと改善の見通し。

《 資金繰り(前年同期と比較して) 》

(単位 %)

| | 今四半期(27年4～6期)実績 | | | | | 次四半期(27年7～9月)予測 | | | | |
|--------|-----------------|------|------|-----|-------|-----------------|------|-------|------|-------|
| | 楽である | 不変 | 苦しい | 未記入 | DI値 | 楽になる | 不変 | 苦しくなる | 未記入 | DI値 |
| 全業種 | 8.8 | 67.4 | 21.9 | 1.9 | ▲13.1 | 8.3 | 67.9 | 17.5 | 6.3 | ▲9.2 |
| 建設業 | 10.4 | 73.1 | 14.9 | 1.5 | ▲4.5 | 9.0 | 74.6 | 11.9 | 4.5 | ▲2.9 |
| 製造業 | 6.2 | 74.0 | 18.8 | 1.0 | ▲12.6 | 6.2 | 68.8 | 21.9 | 3.1 | ▲15.7 |
| 卸売業 | 9.5 | 69.5 | 20.0 | 1.1 | ▲10.5 | 9.5 | 66.3 | 16.8 | 7.4 | ▲7.3 |
| 小売業 | 17.1 | 40.0 | 42.9 | 0.0 | ▲25.8 | 17.1 | 45.7 | 34.3 | 2.9 | ▲17.2 |
| 運輸・倉庫業 | 0.0 | 73.5 | 20.6 | 5.9 | ▲20.6 | 0.0 | 73.5 | 17.6 | 8.8 | ▲17.6 |
| サービス業 | 8.6 | 61.7 | 25.9 | 3.7 | ▲17.3 | 8.6 | 69.1 | 11.1 | 11.1 | ▲2.5 |
| 中小企業 | 8.0 | 66.8 | 23.2 | 2.1 | ▲15.2 | 7.7 | 67.3 | 18.6 | 6.4 | ▲10.9 |
| 大企業 | 20.0 | 80.0 | 0.0 | 0.0 | 20.0 | 20.0 | 75.0 | 0.0 | 5.0 | 20.0 |



8. 当面の経営上の問題点

当面の経営上の問題点として最も多かったのは、「受注、需要の増加又は減少」37.2%（前期比－4.6ポイント）であり、次いで「人材難、求人難、定着化の悪化」36.7%（前期比－7.7ポイント）、「営業利益の低下」33.6%（前期比0.0ポイント）、「原材料高、入手難」27.3%（前期比＋4.9ポイント）、「経費の増加」26.8%（前期比＋1.0ポイント）となった。

業種別でみると、建設業「受注、需要の増加又は減少」47.8%、製造業「原材料高、入手難」・「販売価格への転嫁難」共に45.8%、卸売業「受注、需要の増加又は減少」42.1%、小売業「天候などの自然条件」・「営業利益の低下」共に34.3%、運輸・倉庫業「人材難、求人難、定着化の悪化」85.3%、サービス業「人材難、求人難、定着化の悪化」42.0%がそれぞれ最も多かった。

規模別でみると、「受注、需要の増加又は減少」が中小企業で37.1%、大企業で45.0%と最も多かった。

《 当面の経営上の問題点(複数回答可) 》

(単位 %)

| 問題点 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 |
|--------|-----------------------|-----------------------------|--|-------------------------|-----------------------|----------------------|---------------------------|------------------------------|-----------------------------------|------------------|-----------------------------------|--|--|
| | 条天 件候 などの 自然 | 加受 又注 は、需 減少 の増 | 出店同 、業 、大 型、 店類 の進 進 | 官公 需 要の 停 滞 | 輸 出 の 不 振 | 少元 (直)請 の減 | 低操 下業 率、 稼働 率 | 難原 材 料 高、 入 手 | の出 荷 下 げ納 品 請 格 | 過 剰 在 庫 | 嫁販 難売 価 格 へ の 転 | 増難 加、 不 良 債 権 の 収 | 化売 、掛 手 期 間 の 長 期 |
| 全業種 | 21.4 | 37.2 | 15.1 | 6.3 | 1.0 | 2.9 | 9.0 | 27.3 | 10.9 | 3.9 | 23.8 | 1.7 | 4.6 |
| 建設業 | 10.4 | 47.8 | 11.9 | 11.9 | 0.0 | 9.0 | 7.5 | 17.9 | 1.5 | 0.0 | 9.0 | 3.0 | 3.0 |
| 製造業 | 22.9 | 38.5 | 18.8 | 6.2 | 3.1 | 2.1 | 14.6 | 45.8 | 16.7 | 5.2 | 45.8 | 1.0 | 4.2 |
| 卸売業 | 27.4 | 42.1 | 7.4 | 2.1 | 0.0 | 1.1 | 1.1 | 34.7 | 21.1 | 5.3 | 32.6 | 2.1 | 5.3 |
| 小売業 | 34.3 | 28.6 | 22.9 | 2.9 | 0.0 | 0.0 | 2.9 | 28.6 | 11.4 | 8.6 | 25.7 | 2.9 | 0.0 |
| 運輸・倉庫業 | 26.5 | 20.6 | 2.9 | 2.9 | 2.9 | 0.0 | 26.5 | 14.7 | 2.9 | 2.9 | 5.9 | 0.0 | 2.9 |
| サービス業 | 13.6 | 33.3 | 24.7 | 9.9 | 0.0 | 3.7 | 8.6 | 8.6 | 3.7 | 2.5 | 7.4 | 1.2 | 8.6 |
| 中小企業 | 20.9 | 37.1 | 15.5 | 6.4 | 0.8 | 2.8 | 9.3 | 26.8 | 10.3 | 4.1 | 24.0 | 1.8 | 4.9 |
| 大企業 | 30.0 | 45.0 | 10.0 | 5.0 | 5.0 | 5.0 | 5.0 | 35.0 | 25.0 | 0.0 | 25.0 | 0.0 | 0.0 |

| 問題点 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 |
|--------|-----------------------|---------------------------------|--|---|--------------------------------------|--|--------------------------------------|--------------------------------------|-----------------------|---------------------------------|--------------------------------------|-------------|-------------|
| | 経 費 の 増 加 | 営 業 利 益 の 低 下 | 不 隘 店 駐 車 場 用 の 地 狭 | 代 剩 化 の 老 朽 化 の 近 | 上 家 賃 、 地 代 の 値 | 化 難 人 材 定 着 、 化 求 の 人 悪 | 費 人 手 過 剰 、 人 件 | 対 労 務 管 理 、 組 合 | 資 金 借 入 難 | 金 利 負 担 の 増 加 | 難 情 報 不 足 、 人 手 | そ の 他 | 無 回 答 |
| 全業種 | 26.8 | 33.6 | 5.6 | 9.5 | 1.5 | 36.7 | 6.3 | 5.8 | 6.3 | 2.4 | 4.9 | 6.8 | 5.1 |
| 建設業 | 29.9 | 35.8 | 3.0 | 0.0 | 3.0 | 44.8 | 7.5 | 3.0 | 9.0 | 1.5 | 3.0 | 1.5 | 6.0 |
| 製造業 | 24.0 | 43.8 | 6.2 | 20.8 | 0.0 | 31.2 | 5.2 | 4.2 | 6.2 | 2.1 | 3.1 | 7.3 | 3.1 |
| 卸売業 | 29.5 | 32.6 | 4.2 | 7.4 | 3.2 | 20.0 | 6.3 | 7.4 | 0.0 | 3.2 | 3.2 | 5.3 | 8.4 |
| 小売業 | 14.3 | 34.3 | 14.3 | 14.3 | 0.0 | 20.0 | 8.6 | 0.0 | 17.1 | 5.7 | 5.7 | 17.1 | 0.0 |
| 運輸・倉庫業 | 32.4 | 23.5 | 5.9 | 0.0 | 0.0 | 85.3 | 2.9 | 17.6 | 2.9 | 2.9 | 8.8 | 2.9 | 0.0 |
| サービス業 | 25.9 | 23.5 | 4.9 | 8.6 | 1.2 | 42.0 | 7.4 | 4.9 | 8.6 | 1.2 | 8.6 | 9.9 | 7.4 |
| 中小企業 | 26.3 | 33.5 | 5.9 | 9.0 | 1.5 | 36.6 | 6.7 | 5.4 | 6.7 | 2.6 | 5.2 | 7.2 | 5.4 |
| 大企業 | 30.0 | 30.0 | 0.0 | 20.0 | 0.0 | 35.0 | 0.0 | 10.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |

9. 平成26年度の採用（平成26年4月～平成27年3月までに入社）について

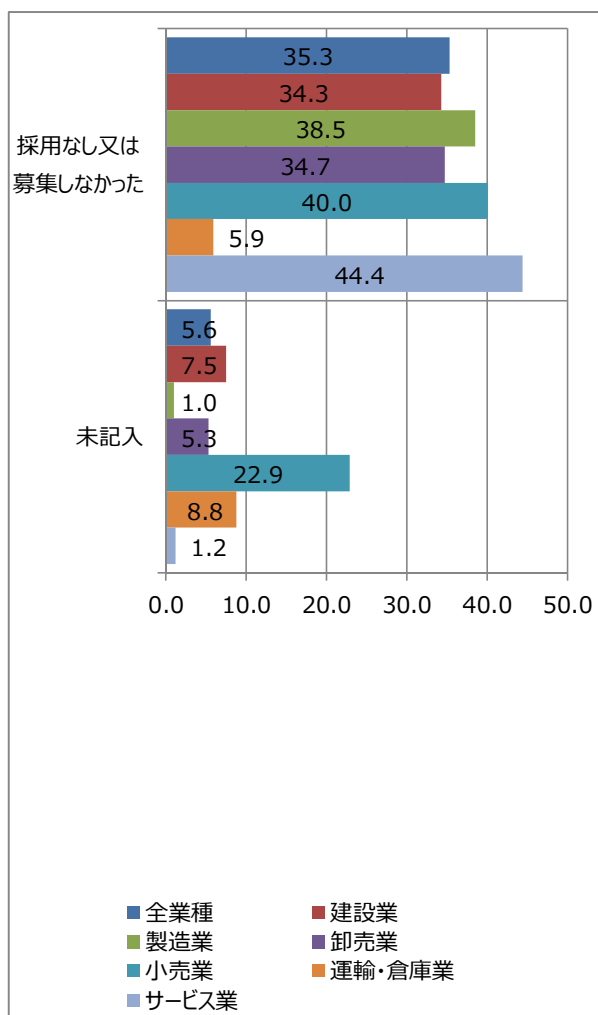
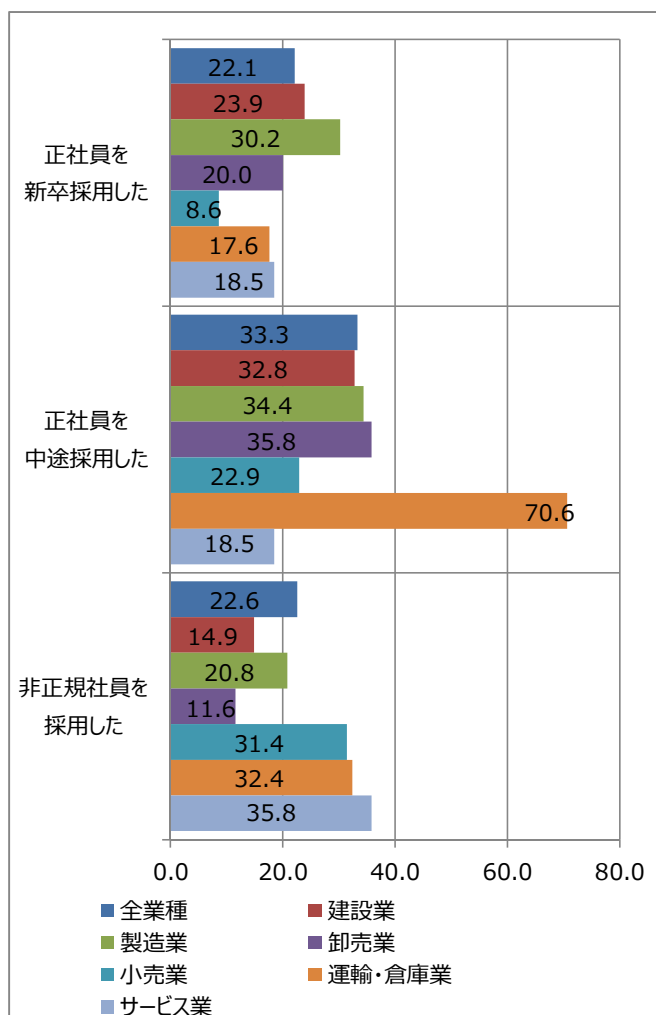
平成26年度の採用（平成26年4月～平成27年3月までに入社）状況について、最も多かったのは全業種で「採用なし又は募集しなかった」35.3%となり、次いで「正社員を中途採用した」33.3%、「非正規社員を採用した」22.6%、「正社員を新卒採用した」22.1%となった。

規模別にみると、「正社員を新卒採用した」について、大企業では70.0%と最も多かったが、中小企業は19.1%となり大企業との比較で50.9ポイント少なかった。

業種別にみると、「正社員を中途採用した」が全業種33.3%に対して、運輸・倉庫業では70.6%と最も割合が高い。「採用なし又は募集しなかった」では、全業種35.3%に対して、サービス業で44.4%と最も割合が高いのに対し、運輸・倉庫業で5.9%と最も割合が低かった。「正社員を新卒採用した」では、全業種22.1%に対して、製造業が30.2%と最も割合が高く、「非正規社員を採用した」では全業種22.6%に対してサービス業で35.8%と割合が最も高くなっている。

（単位 %）

| | 正社員を 新卒採用した | 正社員を 中途採用した | 非正規社員を 採用した | 採用なし又は 募集しなかった | 未記入 |
|--------|----------------|----------------|----------------|-------------------|------|
| 全業種 | 22.1 | 33.3 | 22.6 | 35.3 | 5.6 |
| 建設業 | 23.9 | 32.8 | 14.9 | 34.3 | 7.5 |
| 製造業 | 30.2 | 34.4 | 20.8 | 38.5 | 1.0 |
| 卸売業 | 20.0 | 35.8 | 11.6 | 34.7 | 5.3 |
| 小売業 | 8.6 | 22.9 | 31.4 | 40.0 | 22.9 |
| 運輸・倉庫業 | 17.6 | 70.6 | 32.4 | 5.9 | 8.8 |
| サービス業 | 18.5 | 18.5 | 35.8 | 44.4 | 1.2 |
| 中小企業 | 19.1 | 33.8 | 21.4 | 36.3 | 5.9 |
| 大企業 | 70.0 | 25.0 | 45.0 | 20.0 | 0 |



10. 平成27年度の採用（平成27年4月～平成28年3月までに入社）について

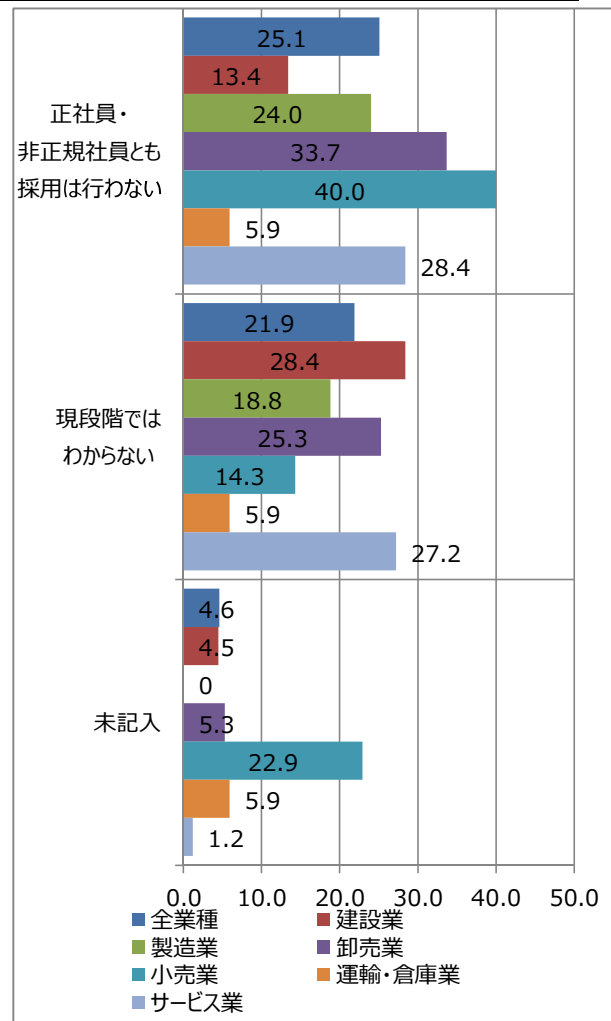
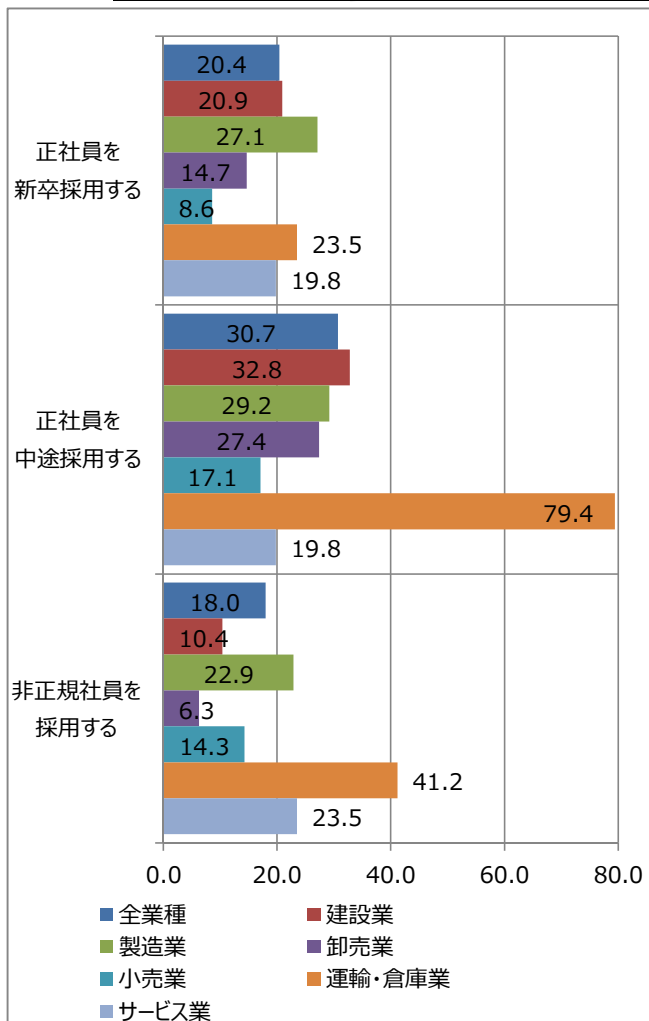
平成27年度の採用（平成27年4月～平成28年3月までに入社）状況について、最も多かったのは全業種で「正社員を中途採用する」30.7%となり、次いで「正社員・非正規社員とも採用は行わない」25.1%、「現段階ではわからない」21.9%、「正社員を新卒採用する」20.4%、「非正規社員を採用する」18.0%となった。

規模別にみると、「正社員を新卒採用する」が大企業75.0%と最も多かったが、中小企業は17.0%と大企業との比較で58ポイント少なかった。

業種別にみると、「正社員を中途採用する」が全業種30.7%に対して、運輸・倉庫業で79.4%と最も割合が高いが、「正社員・非正規社員とも採用は行わない」では、全業種25.1%に対して、小売業で40.0%と最も割合が高いのに対し、運輸・倉庫業で5.9%と最も割合が低かった。「正社員を新卒採用する」では、全業種20.4%に対して、運輸・倉庫業で23.5%と最も割合が高く、「非正規社員を採用する」では全業種18.0%に対してサービス業で23.5%と割合が最も高くなっている。

（単位 %）

| | 正社員を 新卒採用する | 正社員を 中途採用する | 非正規社員を 採用する | 正社員・ 非正規社員とも 採用は行わない | 現段階では わからない | 未記入 |
|--------|----------------|----------------|----------------|----------------------------|----------------|------|
| 全業種 | 20.4 | 30.7 | 18.0 | 25.1 | 21.9 | 4.6 |
| 建設業 | 20.9 | 32.8 | 10.4 | 13.4 | 28.4 | 4.5 |
| 製造業 | 27.1 | 29.2 | 22.9 | 24.0 | 18.8 | 0 |
| 卸売業 | 14.7 | 27.4 | 6.3 | 33.7 | 25.3 | 5.3 |
| 小売業 | 8.6 | 17.1 | 14.3 | 40.0 | 14.3 | 22.9 |
| 運輸・倉庫業 | 23.5 | 79.4 | 41.2 | 5.9 | 5.9 | 5.9 |
| サービス業 | 19.8 | 19.8 | 23.5 | 28.4 | 27.2 | 1.2 |
| 中小企業 | 17.0 | 31.2 | 17.0 | 25.8 | 22.7 | 4.9 |
| 大企業 | 75.0 | 20.0 | 35.0 | 15.0 | 10.0 | 0 |



10-1. 平成27年度の採用（平成27年4月～平成28年3月までに入社）方針について
 ※平成26年度と比較した場合

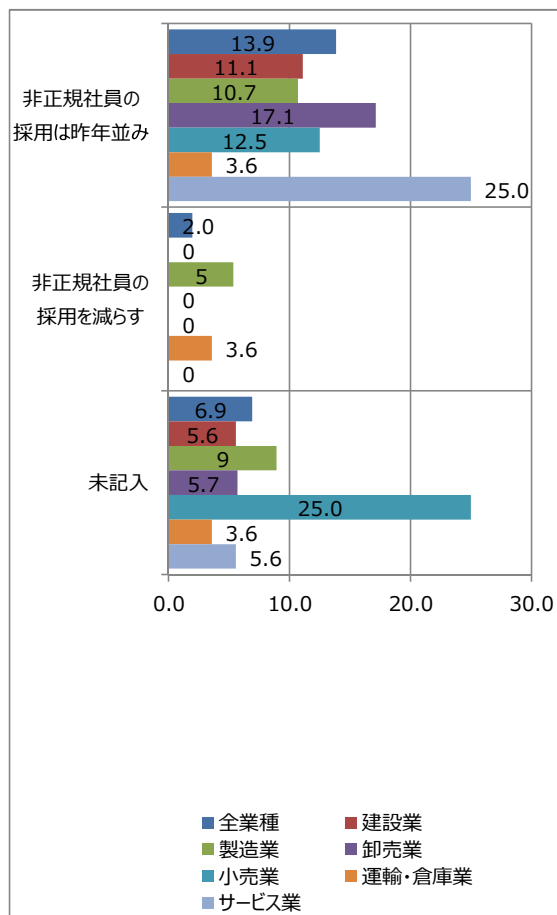
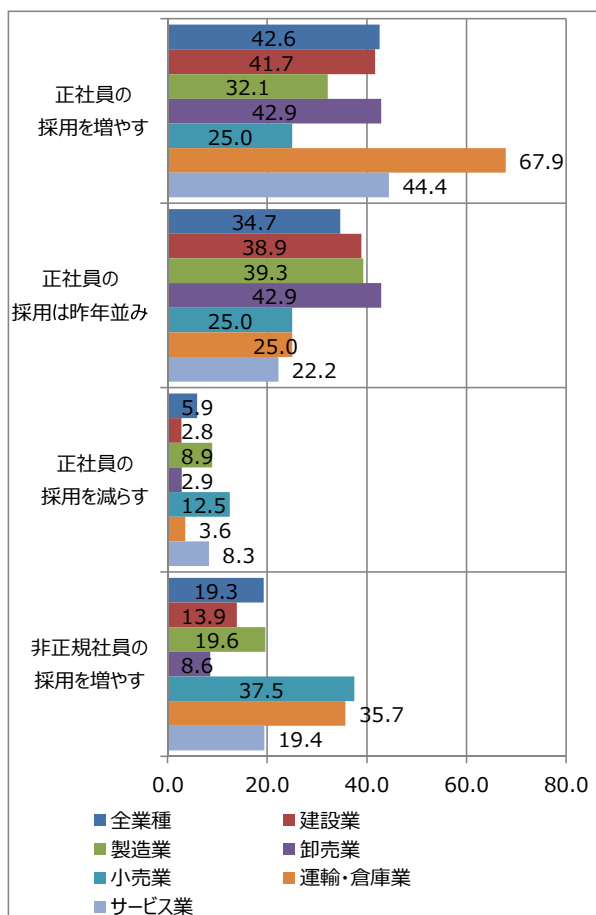
平成27年度の採用（平成27年4月～平成28年3月までに入社）方針について、最も多かったのは全業種で「正社員の採用を増やす」42.6%となり、次いで「正社員の採用は昨年並み」34.7%、「非正規社員の採用を増やす」19.3%、「非正規社員の採用は昨年並み」13.9%、「正社員の採用を減らす」5.9%、「非正規社員の採用を減らす」2.0%となった。

規模別にみると、「正社員を採用を増やす」が中小企業45.6%と最も多かったが、大企業は11.8%と中小企業との比較で33.8ポイント少なかった。

業種別にみると、「正社員の採用を増やす」が全業種42.6%に対して、運輸・倉庫業で67.9%と最も割合が高い。「正社員の採用を減らす」では、全業種5.9%と全ての業種で低い割合となった。「正社員の採用は昨年並み」では、全業種34.7%に対して、卸売業で42.9%と最も割合が高い。また、「非正規社員の採用を増やす」が全業種19.3%に対して、小売業で37.5%と最も割合が高く、「非正規社員の採用を減らす」では全業種2.0%と全ての業種で低い割合となった。「非正規社員の採用は昨年並み」では、全業種13.9%に対して、サービス業で25.0%と最も割合が高い。

(単位 %)

| | 正社員の採用を増やす | 正社員の採用は昨年並み | 正社員の採用を減らす | 非正規社員の採用を増やす | 非正規社員の採用は昨年並み | 非正規社員の採用を減らす | 未記入 |
|--------|------------|-------------|------------|--------------|---------------|--------------|------|
| 全業種 | 42.6 | 34.7 | 5.9 | 19.3 | 13.9 | 2.0 | 6.9 |
| 建設業 | 41.7 | 38.9 | 2.8 | 13.9 | 11.1 | 0 | 5.6 |
| 製造業 | 32.1 | 39.3 | 8.9 | 19.6 | 10.7 | 5 | 9 |
| 卸売業 | 42.9 | 42.9 | 2.9 | 8.6 | 17.1 | 0 | 5.7 |
| 小売業 | 25.0 | 25.0 | 12.5 | 37.5 | 12.5 | 0 | 25.0 |
| 運輸・倉庫業 | 67.9 | 25.0 | 3.6 | 35.7 | 3.6 | 3.6 | 3.6 |
| サービス業 | 44.4 | 22.2 | 8.3 | 19.4 | 25.0 | 0 | 5.6 |
| 中小企業 | 45.6 | 30.8 | 5.5 | 20.9 | 12.1 | 1.7 | 7.7 |
| 大企業 | 11.8 | 70.6 | 11.8 | 5.9 | 29.4 | 6 | 0 |



11. 平成28年度入社予定の新卒大学生等を対象とする採用ルールの変更により、学生の就職活動が後ろ倒しされたことによる影響について

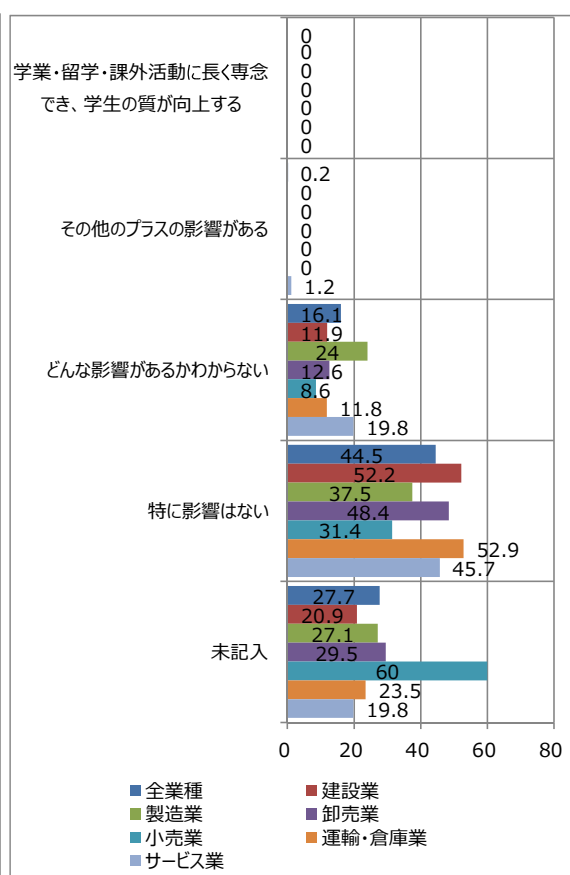
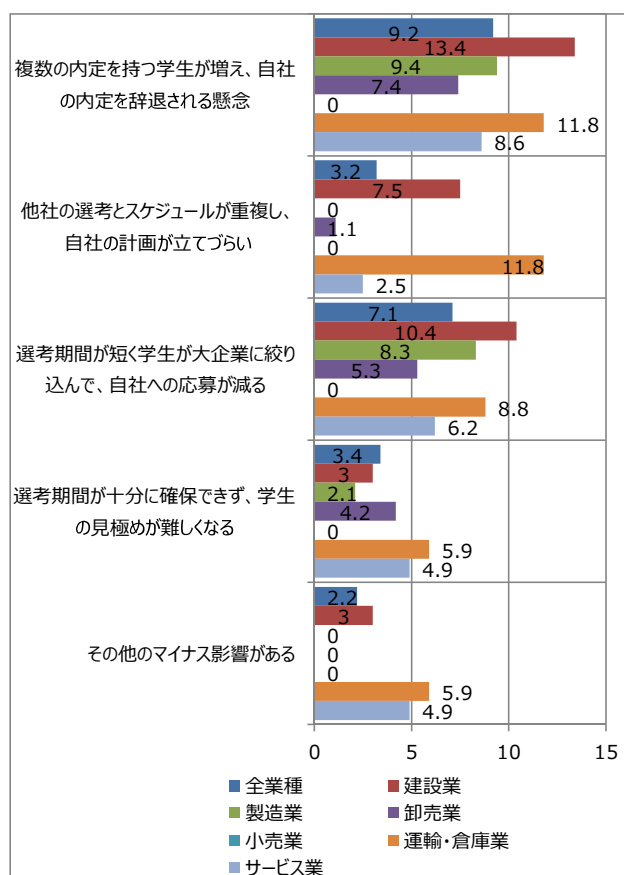
平成28年度入社予定の新卒大学生等を対象とする採用ルールの変更による影響について、全業種で「特に影響はない」が44.5%と最も高い割合となった。

規模別にみると、「特に影響はない」が中小企業46.1%と最も多かったが、大企業は20.0%と中小企業との比較で26.1ポイント少なかった。

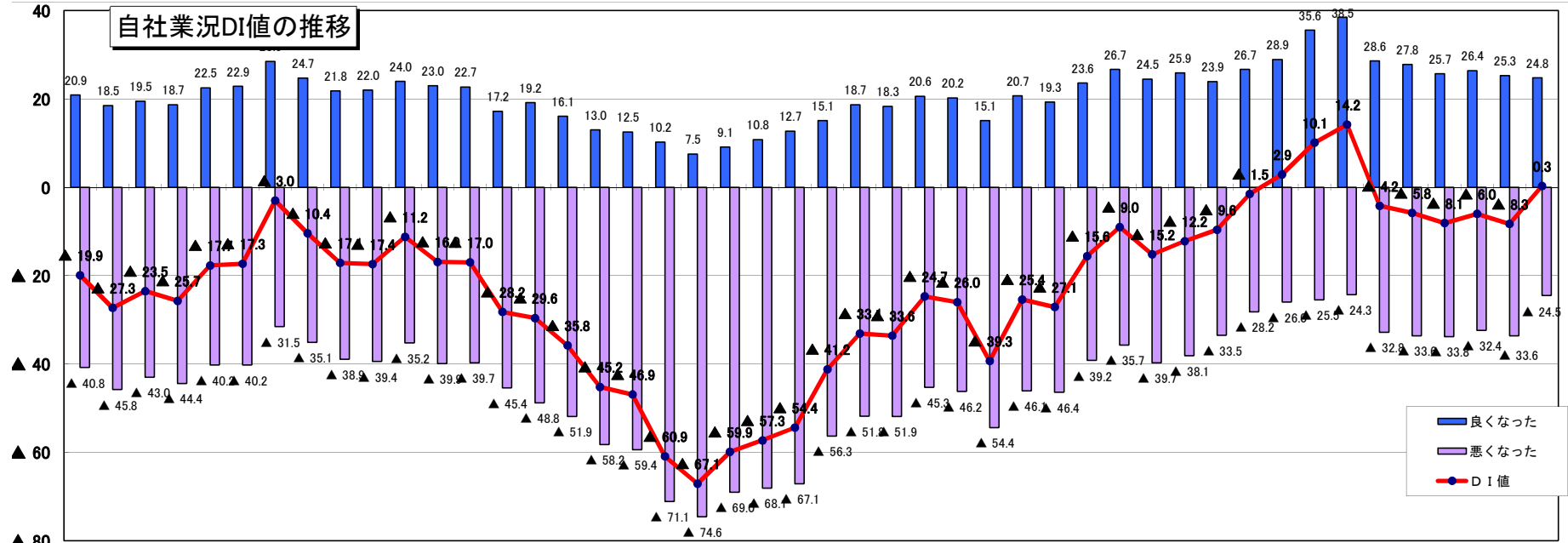
業種別にみると、「特に影響はない」は、運輸・倉庫業52.9%、建設業52.2%、卸売業48.4%、サービス業45.7%、製造業37.5%、小売業31.4%の順となった。

(単位%)

| | 複数の内定を持つ学生が増え、自社の内定を辞退される懸念 | 他社の選考とスケジュールが重複し、自社の計画が立てづらい | 選考期間が短く学生が大企業に絞り込んで、自社への応募が減る | 選考期間が十分に確保できず、学生の見極めが難しくなる | その他のマイナス影響がある | 学業・留学・課外活動に長く専念でき、学生の質が向上する | その他のプラスの影響がある | どんな影響があるかわからない | 特に影響はない | 未記入 |
|--------|-----------------------------|------------------------------|-------------------------------|----------------------------|---------------|-----------------------------|---------------|----------------|---------|------|
| 全業種 | 9.2 | 3.2 | 7.1 | 3.4 | 2.2 | 0 | 0.2 | 16.1 | 44.5 | 27.7 |
| 建設業 | 13.4 | 7.5 | 10.4 | 3 | 3 | 0 | 0 | 11.9 | 52.2 | 20.9 |
| 製造業 | 9.4 | 0 | 8.3 | 2.1 | 0 | 0 | 0 | 24 | 37.5 | 27.1 |
| 卸売業 | 7.4 | 1.1 | 5.3 | 4.2 | 0 | 0 | 0 | 12.6 | 48.4 | 29.5 |
| 小売業 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 8.6 | 31.4 | 60 |
| 運輸・倉庫業 | 11.8 | 11.8 | 8.8 | 5.9 | 5.9 | 0 | 0 | 11.8 | 52.9 | 23.5 |
| サービス業 | 8.6 | 2.5 | 6.2 | 4.9 | 4.9 | 0 | 1.2 | 19.8 | 45.7 | 19.8 |
| 中小企業 | 7.7 | 2.3 | 6.2 | 3.1 | 1.8 | 0 | 0.3 | 15.5 | 46.1 | 28.4 |
| 大企業 | 30 | 15 | 20 | 10 | 5 | 0 | 0 | 30 | 20 | 15 |

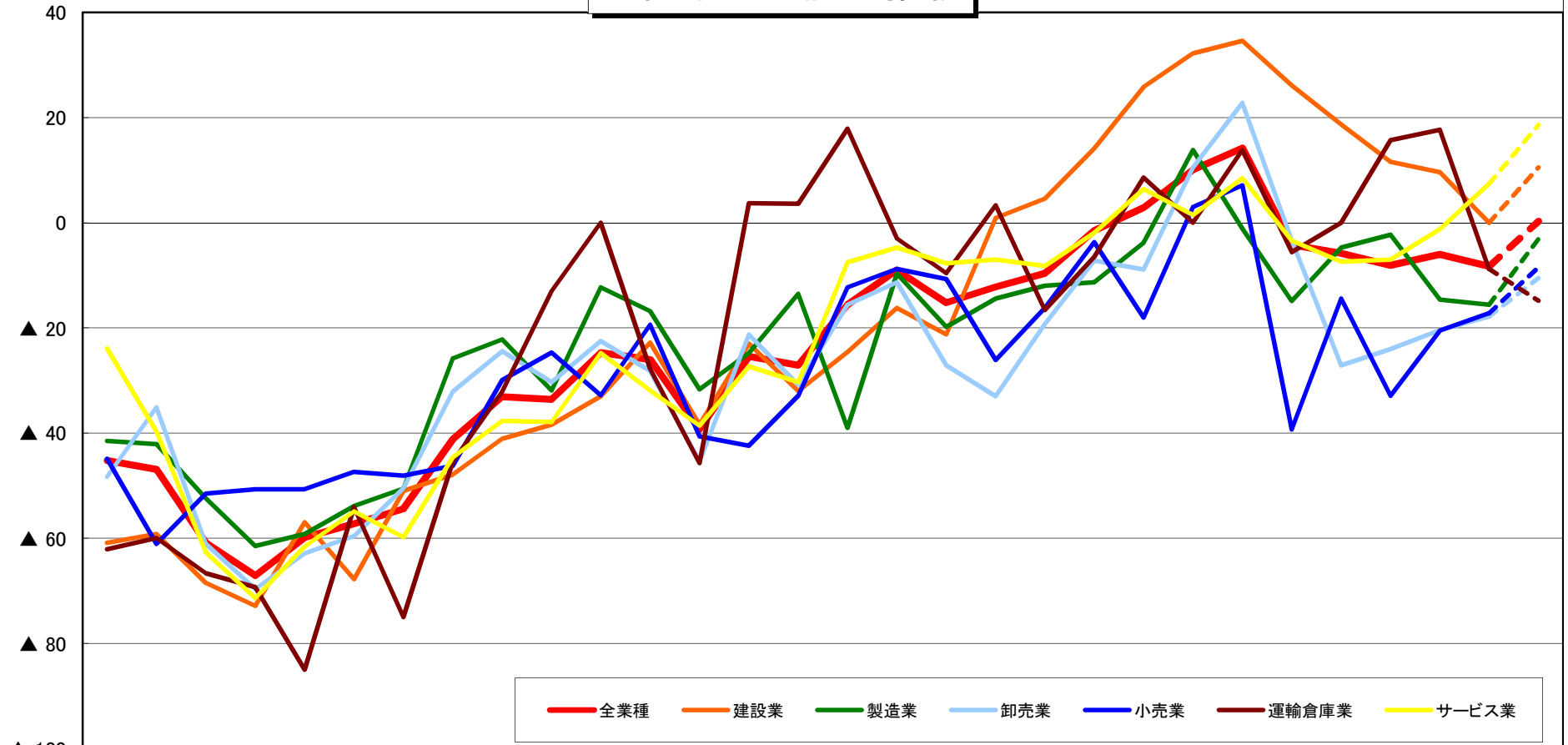


自社業況の景況判断推移(「良くなった」「悪くなった」別、時代背景参考)



- H16 ④⑤⑥ 消費税法改正・年金改革法案成立
- H16 ⑦⑧⑨ 参院選民主党躍進・国の債務残高七百兆円突破
- H16 ⑩⑪⑫ 新潟中越地震・新紙幣発行
- H17 ①② 愛知万博開幕・福岡沖地震・地下鉄七隈線
- H17 ③④⑤⑥ 個人情報保護法・ペイオフ全面解禁
- H17 ⑦⑧⑨ 衆議院選挙自民大勝
- H17 ⑩⑪⑫ 日経平均一千万円回復・構造計算偽造問題
- H18 ①②③ 日経平均一千万円回復 日銀量的緩和と政策解除
- H18 ④⑤⑥ 改正道路交通法施行・新会社法施行
- H18 ⑦⑧⑨ 安倍内閣発足
- H18 ⑩⑪⑫ 米国産牛肉輸入再開
- H19 ①②③ 日銀による追加利上げ
- H19 ④⑤⑥ 対ユーロ最安値を更新
- H19 ⑦⑧⑨ 参院選与野党逆転・安倍首相辞任
- H19 ⑩⑪⑫ 福田内閣発足
- H20 ①②③ 中国製冷凍餃子中毒問題発生・白川日銀総裁誕生
- H20 ④⑤⑥ 4月ガソリン税暫定税率廃止・原油価格1バレル140円突破
- H20 ⑦⑧⑨ 福田首相辞任・麻生内閣発足・米国 リーマンブラザーズ破綻
- H20 ⑩⑪⑫ 日銀政策金利下げ・トヨタ赤字転落発表・派遣切りが社会問題
- H21 ①②③ 定額給付金の補正予算成立、IMFが世界経済成長率戦後最悪の見通し発表
- H21 ④⑤⑥ 高速道路料金引下げ、定額給付金給付、新型インフルエンザの国内感染
- H21 ⑦⑧⑨ 衆議院議員選挙で民主党圧勝・鳩山内閣発足
- H21 ⑩⑪⑫ 中小企業金融円滑化法の成立、政府による「デフレ宣言」
- H22 ①②③ トヨタ大規模リコール問題、民主党政権で第2次補正予算・初の年度予算成立
- H22 ④⑤⑥ こども手当で支給、改正貸付金法施行
- H22 ⑦⑧⑨ 民主党代表選・菅首相再任・急激な円高による日銀の為替介入、エコカー購入補助金終了
- H22 ⑩⑪⑫ 福岡市長選・高島新市長誕生、家電エコポイント制度改正
- H23 ①②③ 東日本大震災発生、九州新幹線全線開業・新博多駅ビルオープン
- H23 ④⑤⑥ 東日本大震災の復興費を盛り込んだ第1次補正予算成立
- H23 ⑦⑧⑨ 野田内閣発足
- H23 ⑩⑪⑫ グリーンアジア国際戦略総合特区指定決定
- H24 ①②③ 東日本大震災被災地再生に向け、復興庁業務開始
- H24 ④⑤⑥ 消費税法改正案が衆議院本会議で可決
- H24 ⑦⑧⑨ 再生可能エネルギーの固定価格買取制度スタート
- H24 ⑩⑪⑫ 第46回衆議院議員総選挙で自民党政権復帰・第2次安倍内閣発足
- H25 ①②③ 黒田総裁が率いる日銀新体制発足
- H25 ④⑤⑥ 日銀が大規模な金融緩和策を決定
- H25 ⑦⑧⑨ 2020年夏季オリンピック・パラリンピック東京開催決定
- H25 ⑩⑪⑫ 豪華客台列車「なつ星in九州」の運行開始
- H26 ①②③ 福岡市が国家戦略特区に指定
- H26 ④⑤⑥ 4月消費税率引上げ(5%→8%)
- H26 ⑦⑧⑨ 第2次安倍改造内閣発足
- H26 ⑩⑪⑫ 第47回衆議院選挙で与党の自民・公明両党は3/25議席を獲得し、定数の3分の2(317)を上回る
- H27 ①②③ 石破大臣から知事に対し、27年度中の「地方版総合戦略」策定を要請
- H27 ④⑤⑥ 「18歳選挙権」改正公職選挙法が成立
- H27 ⑦⑧⑨ 次期予測

自社業況DI値の推移



| | H20. 4~6 | H20. 7~9 | H20. 10~12 | H21. 1~3 | H21. 4~6 | H21. 7~9 | H21. 10~12 | H22. 1~3 | H22. 4~6 | H22. 7~9 | H22. 10~12 | H23. 1~3 | H23. 4~6 | H23. 7~9 | H23. 10~12 | H24. 1~3 | H24. 4~6 | H24. 7~9 | H24. 10~12 | H25. 1~3 | H25. 4~6 | H25. 7~9 | H25. 10~12 | H26. 1~3 | H26. 4~6 | H26. 7~9 | H26. 10~12 | H27. 1~3 | H27. 4~6 | H27. 7~9 |
|-------|----------|----------|------------|----------|----------|----------|------------|----------|----------|----------|------------|----------|----------|----------|------------|----------|----------|----------|------------|----------|----------|----------|------------|----------|----------|----------|------------|----------|----------|----------|
| 全業種 | ▲ 45.2 | ▲ 46.9 | ▲ 60.9 | ▲ 67.1 | ▲ 59.9 | ▲ 57.3 | ▲ 54.4 | ▲ 41.2 | ▲ 33.1 | ▲ 33.6 | ▲ 24.7 | ▲ 26.0 | ▲ 39.3 | ▲ 25.4 | ▲ 27.1 | ▲ 15.6 | ▲ 9.0 | ▲ 15.2 | ▲ 12.2 | ▲ 9.6 | ▲ 1.5 | 2.9 | 10.1 | 14.2 | ▲ 4.2 | ▲ 5.8 | ▲ 8.1 | ▲ 6.0 | ▲ 8.3 | 0.3 |
| 建設業 | ▲ 60.9 | ▲ 59.2 | ▲ 68.5 | ▲ 72.9 | ▲ 57.0 | ▲ 67.8 | ▲ 51.0 | ▲ 47.9 | ▲ 41.1 | ▲ 38.4 | ▲ 33.0 | ▲ 22.8 | ▲ 38.4 | ▲ 23.0 | ▲ 32.0 | ▲ 24.6 | ▲ 16.2 | ▲ 21.2 | 0.9 | 4.6 | 14.1 | 25.8 | 32.2 | 34.6 | 26.1 | 18.7 | 11.6 | 9.6 | 0.0 | 10.5 |
| 製造業 | ▲ 41.5 | ▲ 42.1 | ▲ 52.4 | ▲ 61.5 | ▲ 59.2 | ▲ 53.9 | ▲ 50.6 | ▲ 25.8 | ▲ 22.2 | ▲ 31.9 | ▲ 12.3 | ▲ 16.8 | ▲ 31.7 | ▲ 24.8 | ▲ 13.5 | ▲ 39.0 | ▲ 9.7 | ▲ 19.8 | ▲ 14.4 | ▲ 12.0 | ▲ 11.3 | ▲ 3.8 | 13.8 | ▲ 1.1 | ▲ 14.9 | ▲ 4.7 | ▲ 2.3 | ▲ 14.6 | ▲ 15.6 | ▲ 3.1 |
| 卸売業 | ▲ 48.3 | ▲ 35.1 | ▲ 61.1 | ▲ 69.7 | ▲ 62.9 | ▲ 59.6 | ▲ 50.5 | ▲ 32.1 | ▲ 24.4 | ▲ 30.3 | ▲ 22.5 | ▲ 28.2 | ▲ 45.4 | ▲ 21.3 | ▲ 30.8 | ▲ 15.6 | ▲ 11.3 | ▲ 27.1 | ▲ 33.0 | ▲ 19.3 | ▲ 7.2 | ▲ 8.9 | 10.5 | 22.8 | ▲ 3.3 | ▲ 27.1 | ▲ 24.0 | ▲ 20.4 | ▲ 17.8 | ▲ 10.5 |
| 小売業 | ▲ 44.9 | ▲ 61.1 | ▲ 51.5 | ▲ 50.7 | ▲ 50.7 | ▲ 47.4 | ▲ 48.1 | ▲ 46.2 | ▲ 29.9 | ▲ 24.7 | ▲ 32.8 | ▲ 19.4 | ▲ 40.6 | ▲ 42.4 | ▲ 32.9 | ▲ 12.3 | ▲ 8.8 | ▲ 10.7 | ▲ 26.1 | ▲ 16.2 | ▲ 3.7 | ▲ 18.0 | 3.0 | 7.1 | ▲ 39.3 | ▲ 14.4 | ▲ 32.9 | ▲ 20.5 | ▲ 17.2 | ▲ 8.5 |
| 運輸倉庫業 | ▲ 62.1 | ▲ 60.0 | ▲ 66.7 | ▲ 69.3 | ▲ 85.0 | ▲ 54.1 | ▲ 75.0 | ▲ 45.4 | ▲ 32.1 | ▲ 13.0 | 0.0 | ▲ 27.8 | ▲ 45.7 | 3.7 | 3.6 | 17.9 | ▲ 3.0 | ▲ 9.6 | 3.3 | ▲ 16.6 | ▲ 6.5 | 8.6 | 0.0 | 13.8 | ▲ 5.6 | 0.0 | 15.7 | 17.7 | ▲ 8.8 | ▲ 14.8 |
| サービス業 | ▲ 23.9 | ▲ 39.7 | ▲ 62.7 | ▲ 71.4 | ▲ 61.6 | ▲ 54.9 | ▲ 59.8 | ▲ 44.6 | ▲ 37.7 | ▲ 37.9 | ▲ 24.8 | ▲ 31.9 | ▲ 38.6 | ▲ 27.3 | ▲ 30.3 | ▲ 7.5 | ▲ 4.7 | ▲ 7.7 | ▲ 7.0 | ▲ 8.2 | ▲ 1.9 | 6.4 | 1.5 | 8.5 | ▲ 3.4 | ▲ 7.4 | ▲ 7.0 | ▲ 1.2 | 7.4 | 18.6 |